

令和 5 年度 北栄小学校グランドデザイン

教育関係法令等

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 北海道教育の重点
- 十勝教育の重点
- 帯広市教育基本計画

学校教育目標（目指す子ども像）

「家庭や地域と連携・協働して子どもを育てる」

自ら進んで学ぶ子ども

◇子どもの「やってみよう！」を引き出す

互いを認め合い、

自分と相手を大事にする子ども

◇人それぞれの特性を認め、尊重する態度を育成する

健康や安全に気を付ける子ども

◇健康や安全に対する関心を高め、
体を動かす心地よさを実感させる

目指す学校像

家庭や地域と共にある学校

～共育（きょういく）～

○学校・家庭・地域の大人が
子どもを共に育てる

○子どもも大人も共に育つ

経営の基本方針

- 学びの機会を保障する
 - ◇ 1人1台端末の活用や体験活動等を通じた「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実
 - ◇ 探究的な学習等における地域の人的、物的な教育資源の活用
 - ◇ 子どもが自らの学習を振り返り、次の学習に向かう学習改善のための支援
- 自分や相手を尊重することを学ばせる
 - ◇ 自身と他者との違いを認め合い、適切な人間関係を築けるよう支援する生徒指導
 - ◇ 失敗しても何度でもチャレンジできる支援的風土の醸成
 - ◇ 集団や社会の一員として主体的に考え、貢献する態度の育成
- 安全を守り安心感を与える
 - ◇ 保護者や専門家等との連携・協働による望ましい生活習慣・食習慣・運動習慣の定着
 - ◇ 健康や安全を確保する適切な対応と子どもの主体的な行動を促す指導
 - ◇ 適切な個人情報の取扱いと適時でわかりやすい情報の発信

【今年度の重点】 子どもの未来を描こう～笑顔あふれる学校づくり～

新しい時代に必要となる資質・能力の育成（知）	豊かな心が育つ教育（徳）	健康で安全安心な教育（体）
<p>【生きて働く知識・技能の習得】</p> <p>① ICTを最大限に活用して、個別最適な学びの実現を目指し、子どもたちの教育的ニーズや理解度に応じたきめ細かな指導を行う。</p> <p>② 指導方法工夫改善教員等により、算数におけるTTや少人数指導、習熟度別学習を効果的に取り入れることで、個に応じた指導を充実させる。</p> <p>③ 授業の終末段階、単元末、学期末、朝学習、「放課後スキルアップ」などで、学習内容を定着させる場面を意図的に設定する。</p> <p>【未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成】</p> <p>① 身に付けさせたい力を明確にした授業づくりを実践する。</p> <p>② 筋道立てて説明するなどの言語活動の充実を図る。</p> <p>③ 端末の効果的な活用による思考の見える化を図り、協働的な学びを充実させる。</p> <p>【学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養】</p> <p>① 一人一人が自己存在感を感じられるよう、生徒指導の機能を生かした授業づくりに努める。</p> <p>② 「学び方のきまり」の定着を図り、学年が上がっても学習に円滑に取り組むことができるようにする。</p> <p>③ 発達段階に応じた学び方について理解を図り、家庭との連携により学習習慣が身に付くようにする。</p>	<p>【道徳教育の充実】</p> <p>① 教育活動全体で、あらゆる機会をとらえ、生きる力の核となる道徳教育を充実させる。</p> <p>② 多様な人材の活用による出前授業や体験活動の充実を図る。</p> <p>【あいさつができる子】</p> <p>① あいさつの指導は全教職員で取り組むとともに、家庭や地域とも連携した取組を継続していく。</p> <p>② 日常の学級指導とともに児童会の自主的な活動によりあいさつ運動の機運を高める。</p> <p>【いじめ・不登校の未然防止】</p> <p>① 自己肯定感を高める支持的学級風土を醸成し、温かい学級づくりを進める。</p> <p>② 日常観察やいじめアンケート調査などにより、小さな芽をつみ未然防止に努める。</p> <p>③ 学級担任だけでなく、学校全体の課題と捉えて共通理解のもと組織的・計画的に支援する。</p> <p>④ 保護者と密に連携を図るとともに、ケースによってはSSWやSCなどの協力も仰ぎながら対応する。</p>	<p>【体力・運動能力の向上】</p> <p>① 運動量の多い汗をかく体育の授業を工夫する。</p> <p>② 新体力テストの全学年実施により、自己の経年変化を知ることによって体力に関心をもたせる。</p> <p>③ 遊びを通して運動の楽しさや喜びを味わわせ積極的に運動に親しむことのできる実効性のある取組を進める。</p> <p>【健康の推進】</p> <p>① 家庭と連携して、過剰で不適切なメディアとの接触を避けることを含め、望ましい生活習慣を身に付けさせる。</p> <p>② 様々な感染症に対する正しい知識や予防方法を身に付けさせるとともに、組織的な感染症対策を継続させる。</p>
	<p>魅力ある学校づくりの推進（連携）</p> <p>【教職員間の連携】</p> <p>① 教職員の個性・特性を生かしつつ、揃えるべきベクトルを揃えた教育活動を推進する。</p> <p>② 教員が連携して複数の目で児童のよさをとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年の子どもを学年で育てるという学年経営の視点を重視（学年の実態に応じて担任の得意分野を生かした交換授業も検討） ・ 担外や養護教諭との密なる情報交換 <p>③ 学年内及び分掌内の他、各先輩教職員の強みを生かしながら、OJT研修を進める。</p> <p>④ 働き方改革を一層推進し、ゆとりをもって子どもと向き合う時間を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の平準化 ・ ICTの活用 <p>【一中エリア内の連携】</p> <p>① 一中エリア小中一貫教育の推進で、連続性・系統性に配慮した学びを目指す。</p> <p>【保護者・地域との連携】</p> <p>① 北栄小学校コミュニティ・スクール協議会との連携により、学校・家庭・地域が「あいさつ上手で思いやりのある北栄っ子」を共有し、その実現に向けた取組を進める。</p> <p>② 開校70周年事業を通して、家庭や地域と連携しながら、北栄小学校の歴史を振りかえると共に、母校への愛着を更に深めていく。</p>	

地域の支え

～コミュニティ・スクール協議会～

PTA

おやじ倶楽部

図書ボランティア

元気クラブ

PTAOB会

同窓会

児童保育センター

町内会

北栄小地区交通安全連絡協議会

北栄小地区生涯学習推進委員会